

令和元年 10 月 2 日

令和元年の静寛院宮（皇女和宮）様の奉賛法要に参列して

神奈川歴史研究会 会長 竹村紘一

10月2日に増上寺で行われた静寛院宮（皇女和宮）様の奉賛法要に神奈川歴研会員並びに友好団体の会員の皆様と共に参列いたしましたので、その概要を簡単に報告いたします。奉賛法要は毎年10月2日に開催され、今年で142回目とのことでありました。

12時半に大殿前に集合し13時から大殿内に着席して法要が始まりました。

式は大殿で、八木季生大僧正以下全山の高僧が威儀を正して参列し雅楽が演奏される中で執り行われました。式は極めて厳粛なものであり伝統的な様式美が感ぜられ感動的なものでありました。徳川宗家

の徳川恒孝つねなり氏の御令室幸子さちこ氏と和宮の御生母橋本経子つねこ（勸行院）かんぎょういんの実家である橋本家の当主ご夫妻が参列しておられました。毎年、両家から参列しておられ、歴史の重みを感じられました。八木季生大僧正の読経に続き、両家代表の焼香があり、その後、我々も他の一般参拝客も焼香しました。式には、毎年のごとありますが、淑徳S C女子中等部・高等部の合唱部の学生が多数参列していて、指揮者の下、静寛院歌曲（本居宣長の子孫の本居長世作曲で作詞は北原白秋）や、僧侶と共に仏教賛歌を合唱して式に花を添えておりました。

法要の後、昨年からであります、増上寺からのご依頼で私が和宮様のご生涯につきまして1時間程で話をさせて頂いております。毎年参加させて頂いている淑徳S C女子中等部・高等部の合唱部の学生さん等にも理解し易い内容にとのご要請も踏まえてやらせて頂いております。

増上寺からは椅子席の確保や来賓室での黄檗宗の黄檗幽茗茶の呈茶等懇切なるおもてなしに与り大変有難い応接をして頂きました。

希望者は宝物殿と徳川将軍家霊廟に詣でました。増上寺には二代秀忠公、六代家宣公、七代家継公、九代家重公、十二代家慶公、十四代家茂公の、六人の将軍と五人の正室、五人の側室、他に歴代将軍の子女が多数埋葬されています。墓所内には宝塔が八基安置されています。政略結婚ではありましたが、仲睦まじかったと伝えられる家茂と和宮の宝塔は並んで立っています。将軍の奥方で独立した宝塔があるのは和宮だけであります。その後、大門近くの居酒屋「ねじべえ」にて有志による懇親会を開催し大いに語り合う有意義な時間を過ごしました。一度は参列する価値のある法要だと確信しております。